

神田ため池ハザードマップ



ため池ハザードマップは、豪雨・地震等により、万が一ため池が決壊した場合の 備えとして、安全な避難活動に役立てるための情報を記載しています。

ため池は、「かんがい」という本来の機能のほかに、多面的機能の一つとして、降った雨を貯留し、下流の農地・農業用施設のほか、公共施設・宅地等への被害を 軽減する洪水調節機能も有しています。

わが家の防災メモ					
家族で話し合って書き込みましょう					
わが家の避難場所:					非常持ち出し品チェックリスト
家族の集合場所:					□□ 懐中電灯 (□□ 電池)
緊急時の連絡先:					□□ ろうそく (□□ マッチ)
家族の氏名	生年月日	血液型	既往症	携帯電話/会社・学校の連絡先	□□ 携帯ラジオ (□□ 電池)
					□□水
					□□ 食料品 (□□ 缶きり等)
					□□ 医薬品
					□□ 現金·貴重品
					□□ 衣類(雨カッパ・下着類)
メモ					

ハザードマップについて

このハザードマップの目的

神田ため池は農業用水の取水施設であり、洪水調節機能を有しています。

しかしながら、近年の大型地震や集中豪雨等による ため池災害が発生しており、また災害に至らなくても 非常に危険な状態になり、下流域の住民が避難を余儀 なくされる事態が発生しています。

このことから、ため池が決壊するといった最悪の事態を想定し、決壊による浸水被害想定と避難対策等の情報をわかりやすく住民の皆さんに提供することを目的に作成したものです。

日頃から家族やご近所で災害への対応について話し合い、家から避難場所までの経路や家族の連絡 先などを書き込んでおきましょう。

このハザードマップを目につく場所において、い つでも確認できるようにしておきましょう。

浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し 危険を感じたら自主的避難を心がけましょう。

みなさんが災害について関心を持ち、いざという時に落ち着いて行動ができるよう、日頃から災害に関する正しい心構えを身に着けておくことが大切です。

避難の際の注意事項!!

早めの避難を!

- ◆ 道路や地面が浸水する前に避難することが望ましいです。浸水してしまった場合は、まず高所へ避難しましょう。
- ◆ 高齢の方・身体の不自由な方・子供等は、避難に時間がかかります。早めの避難を心がけましょう。
- ◆ 荷物は貴重品・食料・衣料・日用品など必要最小限のものにしましょう。

避難は2人以上で!

- ◆ 裸足・長靴は危険です。ひもでしめられている運動靴で避難しましょう。
- ◆近所と声をかけ合って、家族やグループで行動しましょう。
- ◆避難は必ず歩いてしましょう。車やバイクでの移動は、流されたり転倒することもあり非常に危険です。
- ◆ 避難には、高い場所にある道路を選びましょう。

足下に注意!

- ◆ 普段は見えていた水路・桝・段差など、洪水のときは冠水して見えづらくなっています。十分に注意して移動しましょう。
- ◆水深がひざまであるようなら、無理をせず高所で救助を待ちましょう。
- ◆ はぐれないように、お互いの体をロープで結んで避難しましょう。

雨の具合で危険度をチェックしましょう

<u> 危険を感じたらすぐに避難を!</u>



やや強い雨 (1時間に10~20mm) 地面からの跳ね返り で足下がぬれる。 雨の音で話がよく聞 き取れない。



強い雨 (1時間に20~30mm) 地面一面に水たまり ができる。 側溝・下水・小さな 川があふれ、小規模 の崖くずれが始まる。



激しい雨 (1時間に30~50mm) バケツをひっくりか えしたようにふる。 山崩れ・崖崩れが起 きやすくなり危険地 帯では避難の準備が 必要。



非常に激しい雨 (1時間に50~80mm) 滝のようにふる。 都市部では地下室や 地下街に雨水が流れ 込む場合がある。 土石流などの多くの 災害が発生する。



猛烈な

必要。

(1時間に80mm以上) 息苦しくなるような 圧迫感がある。恐怖 を感じる。 雨による大規模な災 害の発生するおそれ が強く厳重な警戒が

連絡・通報先

警察署

周南市防災危機管理課0834-22-8208周南市農林整備課0834-22-8361消防本部0834-22-8765 (緊急時:119)

1 1 0

危険だと感じたら すぐに連絡